



2026年2月2日

第三者検証報告書

三菱瓦斯化学株式会社
代表取締役社長 伊佐早 禎則 様

日本化学キューエイ株式会社
東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル7階
代表取締役社長 高橋 猛

■検証の目的及び会社の責任

日本化学キューエイ株式会社（以下、JCQA）は、三菱瓦斯化学株式会社（以下、MGC）が集計した温室効果ガス（以下、GHG）排出量について、第三者として独立した立場から検証を実施した。

本検証の目的及びJCQAの責任は、算定されたGHG排出量について、算定基準に基づいて適正に算定・集計・報告が行われているかを独立の立場から確認し、第三者としての見解を述べることである。

なおGHG排出量を以下の算定基準に従って適正に集計・算定・報告する義務は組織にある。

■当社の独立性

JCQA及びその検証員は、MGC及びMGCのグループ各社から独立しており、利害関係はない。

■検証対象及び範囲

検証対象となる組織、期間、及び対象となるGHGは以下の通り。

- 対象組織 : MGCの国内各事業所(共同過酸化水素株式会社を含む)
- 対象期間 : 2024年度(2024年4月～2025年3月)
- 対象GHG : Scope1、Scope2(マーケット基準、ロケーション基準、6.5ガスを含む。)、及びScope3(Category 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 11, 12, 13)

■算定基準及び検証基準

【算定基準】

- GXリーグ算定・モニタリング・報告ガイドライン(2024年4月19日改訂)
- 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver6.0)(令和7年3月)
- サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインVer.2.7(2025年3月)
- GHG Protocol A Corporate Accounting and Reporting Standard (REVISED EDITION)
- MGCが策定した算定方法及び基準

【検証基準】

- GXリーグ第三者検証ガイドライン(2023年11月15日)
- JIS Q 14064-3:2023 (ISO 14064-3:2019)

■検証方法

JCQAは検証基準に則り、限定的保証水準にて、以下の手続きを実施した。なお限定的保証水準で行われる検証活動は、その性質、時期や範囲が合理的保証水準の検証ほど広くない。その結果、限定的保証業務で得られる保証水準は、合理的保証業務の実施で得られる保証水準ほどには高くない。

- 本検証ではサンプリング法を適用し、次頁に示す事業所について、以下の手続を実施した。
- モニタリング体制、算定・集計体制、及び品質管理・品質保証の仕組みについては、MGC本社・の集計責任者並びに各サイトの責任者・担当者へのヒアリング、及び関係書類の確認などを実施した。
- 現地往査では、組織境界、排出源、貯蔵庫、モニタリングポイントの確認などを実施した。
- 算定データについては、単位発熱量や排出係数等の確認、算定に使用されたデータと証憑類との突合、再計算を実施した。
- 前年度のGHG排出量との比較を実施した。
- GXリーグに申請し承認された事項については、それが精度確保に十分なものであるとした。検証では、算定でそれらの事項が適切に適用・使用されていることを確認した。

■ 検証結果

MGC が算定・報告した GHG 排出量を検証した結果、収集・集計の仕組みが合理的に構築・運用されていないと認められる事実、そこに記載されている GHG 排出量情報に、上記の算定基準に従って算定及び報告がされていないと疑義を生じさせる事項は、全ての重要な点において、見い出されなかった。

検証結果の詳細

【組織境界設定の基準】

経営支配力基準、 財務支配力基準、 出資比率基準、 その他の基準

【サンプリング・往査対象とした事業所】

・ 鹿島工場、 ・ 山北工場、 ・ 四日市工場、 ・ 水島工場、 ・ 新潟工場

【検証したGHG排出量】

・ Scope1排出量	:	528,715	ton-CO ₂ e
・ Scope2排出量			
ロケーション基準 (非化石証書等適用無し)	:	189,635	ton-CO ₂ e
マーケット基準 (非化石証書等適用後)	:	140,286	ton-CO ₂ e

[GXリーグ向け]

・ Scope1排出量	:	528,709	ton-CO ₂ e
・ Scope2排出量 (非化石証書等適用無し)	:	172,999	ton-CO ₂ e
・ 非化石証書及びグリーン電力証書による控除可能量	:	34,016	ton-CO ₂ e
・ Scope3排出量	:	7,577,239	ton-CO ₂ e
(内訳)			
Category1 購入した製品・サービス	:	3,368,017	ton-CO ₂ e
Category2 資本財	:	267,613	ton-CO ₂ e
Category3 Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	:	121,949	ton-CO ₂ e
Category4 輸送、配送 (上流)	:	279,554	ton-CO ₂ e
Category5 事業から出る廃棄物	:	14,898	ton-CO ₂ e
Category6 出張	:	329	ton-CO ₂ e
Category7 雇用者の通勤	:	910	ton-CO ₂ e
Category8 リース資産 (上流)	:	2,994	ton-CO ₂ e
Category9 輸送、配送 (下流)	:	148,160	ton-CO ₂ e
Category11 販売した製品の使用	:	405,913	ton-CO ₂ e
Category12 販売した製品の廃棄	:	2,955,859	ton-CO ₂ e
Category13 リース資産 (下流)	:	11,043	ton-CO ₂ e

【検証意見】

無限定適正意見、 限定付適正意見、 不適正意見、 意見不表明

- 以上 -